



南小岩小学校だより

いちよう



令和6年5月31日 第3号  
江戸川区立南小岩小学校  
校長 吉田 友信

## 全校遠足で「心力向上」を図る

校長 吉田 友信



5月24日(金)に徒歩で、都立篠崎公園まで「全校遠足」に出掛けました。放送による出発式で、校長の私から「全校遠足は学校の自慢の1つであり、全員で楽しい思い出を作ること」と「全校遠足は人間関係を学ぶ場であり、下級生は上級生の言うことをしっかりきき、上級生は下級生を絶対に守ること」について話してから出発しました。

1～6年生まで混成の縦割り班ごとに2列で手をつなぎ、往路約30分、復路約40分かけ、片道1500mはある道のりを楽しく話したり、励まし合ったりしながら歩きました。帰り道には、「足が棒になった。」「もう歩けないよ。」などと泣いたり怒りっぽくなったりする児童もいましたが、全員で最後まで歩き続ける我慢の力がつきました。

篠崎公園に着いてからは、事前に6年生が中心となって計画してきた縦割り班ごとの活動(遊び)を楽しみました。学年に開きがあるため、お互いを気遣いながら楽しんで遊ぶ力がつきました。少し早めのお昼には、大きな木陰に入りご家庭でご準備いただいたお弁当を美味しくいただきました。準備や片付けも6年生の合図により、集団で行動する力がつきました。

帰るころから日差しが強くなり、本当に暑くなりましたが、全員何とか無事に帰校しました。この全校遠足を通して、児童のよさや可能性を信じ、伸ばすことができました。6年生が出発前から1年生の教室で並べたり、歩道を歩く際に下級生が内側になるよう並び替えたり、復路では背中に自身のリュック、お腹には1年生のリュックを持つなど優しく接していました。

こうした思いやりのある6年生の姿がよいモデル(行動基準)として心に残り、5年後には優しくされた1年生や下級生が高学年として望ましい成長を遂げ、本校の教育目標「思いやりのある子」の達成が次々と波及していき、本校自慢の心力向上が達成されていくのです。

## 6月の予定

	朝活動	学校行事等		朝活動	学校行事等
1	土		17	月	全校朝会 水泳指導開始 よい歯の表彰(朝会)
2	日		18	火	朝読書
3	月	全校朝会 hyper-QU(全学年) なわとびウィーク始	19	水	集会 小中連携・中学校見学(6年)
4	火	朝読書 委員会	20	木	朝読書 たてわり班活動
5	水	代表委員集会 ソフトボール投げ①	21	金	朝読書 音楽鑑賞教室(6年) 日光移動教室前日検診
6	木	朝読書 脊柱側弯症検診(5年) ソフトボール②	22	土	
7	金	読み聞かせ ソフトボール投げ予備日	23	日	
8	土		24	月	全校朝会 日光移動教室1日目(6年)
9	日		25	火	朝読書 日光移動教室2日目(6年)
10	月	全校朝会 なわとび出前授業(全)	26	水	朝読書 日光移動教室最終日(6年)
11	火	朝読書 避難訓練 クラブ	27	木	朝読書
12	水	体育朝会 4時間授業	28	金	朝読書
13	木	朝読書 みつばち学級遠足	29	土	
14	金	朝学習 学校公開(5・6時間目)	30	日	
15	土	朝読書 土曜授業② 道徳地区公開講座			
16	日				

## 体力テスト

体育部 河村 俊博

5月27日より「東京都統一体力テスト」を実施しています。休み時間には、新しい校庭でかけっこやボール投げ、鉄棒などの固定遊具で元気に運動遊びに親しむ姿が見られます。

本年度より体力テストにおいて「デジタル集計アプリ」が導入されました。意識調査については、ご家庭でも入力のご協力ありがとうございます。アプリの動画資料などから、運動のポイントがより理解しやすく、児童のもっている力を最大限に発揮できるよう指導しています。児童も昨年度の自分の記録を確認し、目標をもって、取り組んでいます。体力テストから、自分の力の高まりを感じ、努力することの大切さや達成感を味わうことを通して、心や頭を育てる基盤となる体をつくっていきます。

### 【本校児童の体力・運動への意識の傾向】

～R5年度結果より～

- 「体育の授業が楽しい」と答えた児童→95.0%
- 長座体前屈(柔軟性)、反復横跳び(敏捷性)が昨年度結果の区平均値より上回っている。
- △20mシャトルラン(全身持久力)は、区平均値より下回っている学年が多い。

## 全校遠足

特別活動部 菅沼 春佳

5月24日(金)全校遠足を実施しました。都立篠崎公園にて、1年生から6年生までのたてわり班グループで分かれて活動しました。

天候にも恵まれ、グループで決めた様々な遊びを楽しみ、笑顔あふれる充実した時間となりました。お弁当の時間は、様々な学年同士で交流を深め、嬉しそうにお弁当を食べる姿は、見ている心があたたかくなりました。

また、常に6年生がリーダーシップを発揮し、下級生を引っ張っていく姿が見られ、とても頼もしく感じました。これからもその力で、下級生の手本となり、憧れとなっていくてほしいです。今後も、全校遠足を始め、異学年での交流を通し、お互いに思いやりの心をもって接することのできる児童の育成を、目指していきます。



## 今年度の研究について

研究推進委員会 矢部 恵利子

今年度から本校では、道徳教育を校内研究のテーマに掲げています。子供たちの道徳性を豊かに育み、一人一人が充実感や達成感を得られる学校生活を送ってほしいという願いで設定しました。その中でも今年度は「道徳科の特質を生かした学習指導の工夫」に焦点を当てて授業を進めています。

各学年1回ずつ、年7回の研究授業を行い、文部科学省調査官の堀田竜次先生にご指導をいただいています。4月30日には、6年生の道徳の学習で研究授業を行いました。動作化や役割演技など表現活動の工夫、友達と話し合うことで新しい考えに気付いたり自分の考えが広がったりするための工夫、今までの自分の生き方を見つめ直すための工夫…今後もさまざまな工夫を考えて研究を進めているところです。

保護者の皆様にも子供たちの充実感や達成感が伝わるように、教職員一同日々学び続けていきます。

## 3年生から始まる学習

3年担任 照沼 純

山本 奈緒子

社会「江戸川区の様子」では、江戸川区の地形や交通、土地の使われ方や施設など、様々な視点で調べ学習を行っています。調べたことを発表する場をつくると、意欲的に発言しています。

理科「こん虫の育ち方」では、モンシロチョウの幼虫を育てながら、成虫になる過程を毎日のように観察しています。「先生、さなぎになりました」などと目を輝かせて報告しに来るなど、意欲的に学習に取り組んでいます。

他にも、自転車安全教室など、3年生ならではの行事も実施しており、新鮮な気持ちで一つ一つの学習に取り組んでいます。



モンシロチョウの観察



自転車安全教室